

2011
第36号

8万

(須賀川市人口79,214人 1月1日現在)
[前年同月比 △500人]



桜井弥六像 (公立岩瀬病院敷地内)

桜井弥六は須賀川ゆかりの政治家である後藤新平と深い親交のあった人物と言われています。

新平が須賀川医学校の学生であったとき、弥六は付属病院の賄方や下宿の仕事をしており、よく新平の世話をしたと言われています。

新平はその時の恩義を強く感じており、大臣時代に須賀川の町長らが陳情に行ってもなかなか会ってもらえないような時でも、弥六が行けば時間を割いて会ってくれるほどであったと言われています。

弥六は昭和4年、新平の死後8ヶ月後に後を追うように92歳で生涯を閉じ、翌昭和5年、病院関係者や町の有志らによって像が建立されました。



榊衝新田子安観音堂 (榊衝字新田地内)

榊衝新田地区に旧榊衝村の庄屋、安藤家が建立した小さな観音堂があります。

このお堂は子安観音堂とも呼ばれ、江戸時代の仏師である大原右京（上柱田：岩瀬地区）作の4体の観音像（市指定文化財）が祀られています。

本尊である子安観音像に安産祈願と子育て祈願のため多くの人が訪れ、「子どもが丈夫に育つようにとお堂の産着を借り、子どもが丈夫に育つとお礼に産着を奉納した」と言われています。



弁慶の笥 (今泉字堀ノ内地内)

この笥は、今泉地区に伝わるもので、武蔵坊弁慶が源義経に随ってこの地を通った時、堀ノ内の大銀杏の下おひの小さな祠ほこらに祀ったという伝説が残されています。

笥は、修験者（山伏）が法具などを入れて、背に負う箱のことです。古くから岩瀬地区は、妙見山に置かれていた上寺山徳善院を中心に、多くの修験者が活動をしていました。

弁慶の伝説が残るこの笥も、岩瀬地区での修験の様子を示す貴重なものと言えます。

旧跡発見!

すかがわ探訪

委員会の活動報告

各委員会の活動内容についてお知らせします。

総務常任委員会

本委員会では、昨年の9月以降、年間を通して取り組み検討を重ねている「行財政改革に関すること」と及び「所管の事務の執行について」継続調査を行ってきました。

10月12日には、過去5年間の公共工事入札結果や入札制度改革の変遷、平成22年度須賀川市総合評価方式競争入札の取り組みについて調査を行い、どの業種・企業にも受注機会が得られるよう当局に対して提言しました。

また、新たな取り組みとなる須賀川市新行政評価制度の導入スケジュールや基本的な考え方について意見交換を行いました。

次に、福島空港利活用の観点から、他の空港の状況も把握するため、昨年3月に開港した茨城空港を11月16日に視察し、空港の利用促進に向けた取り組みについて調査をしてみました。

自衛隊（百里飛行場）との共用により旅客ターミナル内の利用客が多いことに驚きましたが、搭乗者の利用は厳しい状況であり、試行錯誤している現状でした。



茨城空港での調査

その中で感心させられたことは、空港を活性化させるため、空港行きバスの運賃補助や多彩なイベント開催などを行っていたことは、大変参考になり、意義深い調査でありました。

この2年間で調査研究してきた結果については、今年度中に取りまとめ、当局に対し提言・要望をしていきます。

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 鈴木 忠夫 |
| 副委員長 | 五十嵐 伸 |
| 委員 | 佐藤 瞭二 |
| 〃 | 丸本由美子 |
| 〃 | 桐生 傳一 |
| 〃 | 村山 廣嗣 |
| 〃 | 水野 敏夫 |

建設水道常任委員会

本委員会では、都市計画の検証、今後の公営住宅のあり方、みなし道路・生活道路の整備、今後の水道計画、公共下水道のあり方、長沼滝地区の下水道・水道敷設について、安心・おいしい・安価な水道水の供給などの施策・事業について、2年間にわたって、先進自治体の行政調査も含め、調査・研究・議論を行ってきました。

昨年9月以降、9月、11月、12月、1月の4回にわたり、所管する建設部及び水道部に関する各種施策及び事務事業について、委員会提言の取りまとめを行いました。

建設部関係では、道路管理及び整備改善、住宅マスタープラン、牡丹台アメニティゾーン、下水道事業経営などについて、9項目であります。

水道部関係では、水道ビジョンの実施計画、水道料金の算定方法、浄水施設の整備などに

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 鈴木 正勝 |
| 副委員長 | 広瀬 吉彦 |
| 委員 | 鈴木 公成 |
| 〃 | 森 新男 |
| 〃 | 大越 彰 |
| 〃 | 塩田 和幸 |
| 〃 | 細谷 松雄 |



1月18日に開催した委員会

いて、7項目であります。委員会提言については、3月定例会で申し入れを行います。今後さらに、各施策・事業の検証、安全性・利便性や満足度を踏まえ、現地調査を重視して委員会としてのチェック・政策立案・提言を行っていきます。

生活産業常任委員会

本委員会では、「安心・安全のまちづくり」、「地場産業の強化育成」、「所管事務事業の行政評価の検証」について、調査研究を重ねてきました。

「所管事務事業の行政評価の検証」については、8月以降の調査により、所管する生活環境部、産業部及び農業委員会の事務事業に関する行政評価に対して、委員会として一定の結論を得たので、去る12月定例会において、平成23年度の予算編成にあたり、当局に対する要望・提言として取りまとめた7項目について、委員長報告を行いました。

- 1、市民活動サポートセンター運営事業について
 - 2、企業誘致推進事業について
 - 3、就業支援事業について
 - 4、宅地販売促進事業について
 - 5、中心市街地の定住の促進について
 - 6、定住促進策について
 - 7、協働のまちづくりに係る取り組みについて
- また、9月定例会以降、本委員会に付託された、EPA（経済連携協定）・FTA（自由貿易協定）推進路線の見直しを求める



1月18日に開催した委員会

請願や、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加に反対する請願等については、本市の将来を見据え、慎重に議論をする必要があるとの考えで、継続して審査を行っております。

今後は、本委員会として2年間にわたり調査研究してきた事項について、3月の定例会において、当局に対して提言書として提出します。

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 八木沼久夫 |
| 副委員長 | 相楽 健雄 |
| 委員 | 川田 伍子 |
| 市村 喜雄 | 菊地 忠男 |
| 大内 康司 | 高橋 秀勝 |

教育福祉常任委員会

本委員会では、先の行政調査の結果を踏まえて、当局からの資料の提出や質疑等で本市の現状の把握や、課題等を調査してきました。平成21年度で当局に提言した内容と重なる部分もありますが、この2年間の総まとめとして、3月定例会で担当部に提言書を出し、その後議長を通して当局に提言する運びとしています。

「高齢者支援のあり方」については、昨年度の「安心できる介護保険制度のあり方」で提言している項目も含めてまとめており、認定を受けても制度を利用していない高齢者に対して、その理由や問題点等、また在宅介護の現状と課題について調査を進めてきました。さらに、「老人クラブ」や、「高齢者サロン事業」等、今日の高齢者支援策としてどのようなか、見直しの必要はないのかなど調査を進めてきました。

一般的調査項目では、特に和田幼稚園の廃園については、多くの意見が出され、当局の考え方に

対し、市民レベルでの話し合いを重ねることを求めることや、本市の幼児教育の将来のビジョンをしっかりと示すことが大事との意見も出されました。

今任期の後半の2年間について調査した結果をまとめ、市民のしあわせづくりに役立つ提言を行い、本市の教育、福祉に関する課題解決のため、本委員会のさらなる充実に向けて調査を進めていきます。

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 加藤 和記 |
| 副委員長 | 塩田 邦平 |
| 委員 | 大倉 雅志 |
| 関根 保良 | 生田目 進 |
| 橋本 健二 | 渡辺 忠次 |



1月12日の委員会終了後

議会広報委員会

本委員会では、平成14年に「市議会だより」を発行して以来、今号の36号で9年目を迎えます。平成20年3月の定例会において常任委員会となり、新たにスタートして現在に至っています。

委員会は8名で構成し、議会の活動状況や各常任委員会の活動内容などを、広く市民にお知らせし、市民に開かれた議会として貢献できるよう努力しています。

議会のホームページでも定例会の状況や各種の情報提供を行っています。また、「市議会だより」では各会派の行政調査の結果や研究の成果についても、お知らせしています。さらには、新市の一体感を醸成するための「旧跡発見！すかがわ探訪」や「旧跡発見！すかがわ探訪」や議会のしくみを伝える「市議会教室」など、わかりやすくお知らせできるよう議員自ら執筆しています。

今年4月には議員の改選が行



1月17日に開催した委員会

われ、次号より編集委員も変わりますが、これまでと同様、「市議会だより」をご愛読いただきますようお願い致します。

委員長 生田目 進
副委員長 関根 保良
委員 鈴木 公成
五十嵐 伸
相楽 健雄
加藤 和記
鈴木 正勝
菊地 忠男

〃 〃 〃 〃 〃

予算委員会

本委員会は、当初予算と補正予算を審議する委員会であり、議長を除く27人の議員全員で構成しています。

4月からの新年度予算を当初予算として、総合計画に基づき1年間の予算を計上しますが、1年間のみならず、長期的な市政の方向性を位置付けるものでもあります。

参考資料として、国の動向や事業計画に対する行政評価、決算委員会での意見、各議員による会派の予算要望などが勘案され、当初予算として編成されます。

地方自治体の責任において、財政運営がなされる今日においては、財政状況により自治体ごとに市民サービスが異なり、厳しい財政の中でより有効に税金が使われるよう、一般会計、特別会計の国民健康保険事業や介護保険事業、水道事業会計等を3日間で集中的に審議し、議会として承認、議決されてから、

当初予算として4月から執行されます。

また、補正予算においては、国や県におけるの政策や事業の変更、当市におけるの事業の見直し等がありますので、6月、9月、12月、3月の定例会や臨時会で予算委員会が開催され、事業内容ごとに審議されます。

予算審議を通して、行政運営をチェックし、市政の方向付けを審議することが本委員会の使命であります。

委員長 市村 喜雄
副委員長 川田 伍子
議長を除く全議員



平成23年第1回臨時会における委員会

議会運営委員会

本委員会では、約2年前から一般質問の取り組みについて議論を重ね、昨年12月定例会から須賀川方式による一問一答形式での質問を試行的に実施しました。

今回の取り組みは、今まで行ってきた1つの質問項目について最大3回までとする一般質問の回数制限を撤廃し、より議論が深まり、議員の政策提言の機会を増やすとともに、質問者と市当局の間みならず、傍聴者にもこれまで以上に質問内容を理解していただけることを期待する内容です。

12月に試行した一般質問の結果については、いろいろな意見が出されました。利点として、議会運営のスピードアップに一定の効果があったことや、これまで以上に議論が深まった質問となった点がありました。事前の通告とは論点の異なる質問や質問の趣旨が伝わらないケースもありました。

こうした意見を踏まえ、市当局と各議員から今回の取り組みについてのアンケート調査をし、一般質問改善のための方策についての検証、評価を行いました。その結



1月21日に開催した委員会

果、3月定例会では、執行部との事前ヒアリング期間を、12月定例会時よりも1週間短縮して招集日の1カ月前から2週間とするなど、6項目28点についての改善策を講ずることとし、全議員に周知徹底をすることを申し合わせ、6月定例会から本格導入を目指します。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 大内 康司 |
| 副委員長 | 塩田 和幸 |
| 委員 | 大倉 雅志 |
| 〃 | 五十嵐 伸 |
| 〃 | 市村 喜彦 |
| 〃 | 大越 彰 |
| 〃 | 橋本 健二 |

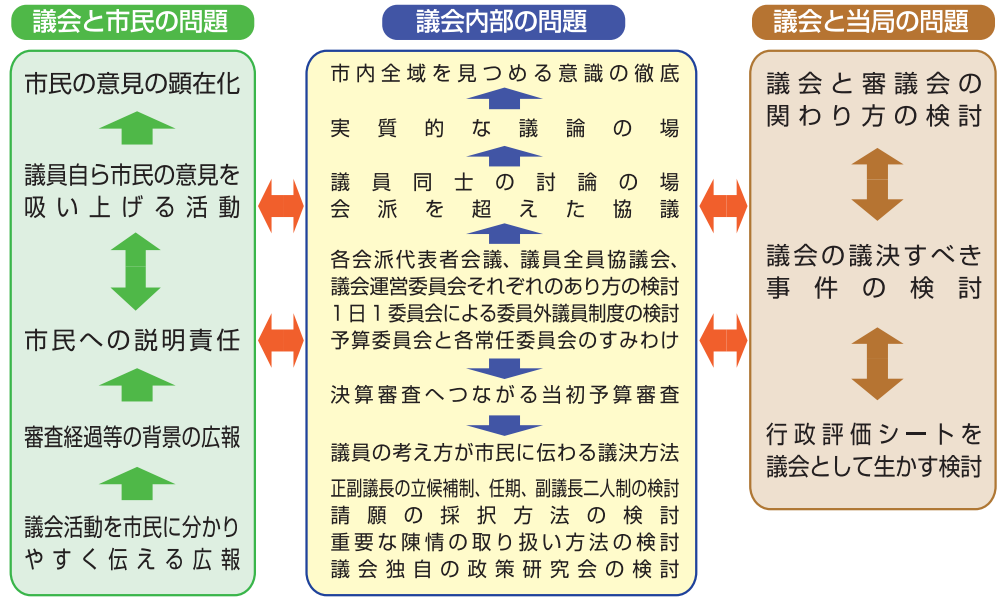
議会制度検討委員会

議会活動の充実を図るため、「議会基本条例」の制定などの検討材料を抽出

本委員会では、

これからの議会活動の一層の充実を図るため、議員・議会としてのあり方、市民や諸団体等との関わり方などについて、改選後に向けてあらゆる視点から項目別に現状における課題や問題点、将来において予想される課題等を抽出し、新たな議会基本条例の制定等の必要性について、「検討材料」を取りまとめ、議長に答申しました。

議会制度検討委員会が出された意見のフローチャート



- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 広瀬 吉彦 |
| 副委員長 | 生田目 進 |
| 委員 | 森 新男 |
| 〃 | 八木 沼久夫 |
| 〃 | 市村 喜彦 |
| 〃 | 鈴木 正勝 |
| 〃 | 水野 敏夫 |



請願・陳情の処理状況

請願と陳情は、国民（外国人や法人も含みます。）が国や地方公共団体に対して、希望を文章で願ひ出る国民の基本的権利の一つです。（請願は、紹介議員を必要とします。）

平成21年3月以降の請願と陳情の処理状況は、下記のとおりです。

●請願の審査状況

| 受理年月日 | 請 願 名 | 付託委員会 | 結 果 |
|-----------|---|---------|--------------|
| 平成21.8.26 | 2010年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める請願書 | 教 育 福 祉 | 平成21年9/25 採択 |
| 平成22.2.19 | 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について | 生 活 産 業 | 平成22年3/19 採択 |
| 2.19 | 社会的セーフティネットの拡充に関する意見書の提出について | 教 育 福 祉 | 3/19 採択 |
| 2.19 | 多重債務者対策の推進を求める意見書提出の請願について | 生 活 産 業 | 3/19 採択 |
| 2.24 | ハローワーク須賀川の駐車場増設を求める請願書 | 生 活 産 業 | 6/17 採択 |
| 2.24 | 米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願 | 生 活 産 業 | 3/19 採択 |
| 3.16 | 農業農村整備事業の予算確保に関する意見書の提出について | 生 活 産 業 | 6/17 採択 |
| 5.28 | 細菌性髄膜炎から子どもたちを守るワクチンの早期定期接種化等を求める意見書の提出を求める請願書 | 教 育 福 祉 | 9/22 採択 |
| 5.28 | 子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願書 | 教 育 福 祉 | 6/17 採択 |
| 8.23 | 免税軽油制度の継続を求める請願 | 総 務 | 9/22 採択 |
| 8.23 | 米価の大暴落に歯止めをかけるための請願 | 生 活 産 業 | 9/22 採択 |
| 8.23 | EPA・FTA推進路線の見直しを求める請願 | 生 活 産 業 | 継続審査 |
| 8.24 | 「2011年度の教育予算の拡充と教職員定数の改善を求める意見書提出」方の請願 | 教 育 福 祉 | 9/22 採択 |
| 8.24 | 「複式学級解消、小規模学校における教職員の配置基準の改善を求める意見書提出」方の請願 | 教 育 福 祉 | 9/22 採択 |
| 11.19 | TPPの参加に反対する請願 | 生 活 産 業 | 継続審査 |
| 11.22 | 最低保障年金制度の制定を求める意見書の採択を求める請願書 | 生 活 産 業 | 12/16 不採択 |
| 11.22 | 後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出を求める請願書 | 生 活 産 業 | 12/16 不採択 |
| 11.22 | 患者の窓口負担大幅軽減を求める請願書 | 生 活 産 業 | 12/16 不採択 |
| 11.22 | 肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する請願書 | 教 育 福 祉 | 継続審査 |
| 11.26 | 「所得税法第56条の廃止」を求める意見書採択に関する請願書 | 総 務 | 継続審査 |
| 11.26 | 議員定数の削減を求める請願 | 総 務 | 継続審査 |
| 11.26 | 市長等特別職の退職金を削減、廃止することを求める請願 | 総 務 | 継続審査 |
| 11.26 | 職員給与を市内民間給与レベルに引き下げをを求める請願 | 総 務 | 継続審査 |
| 11.26 | 「住宅リフォーム助成制度」の創設を求める請願書 | 建 設 水 道 | 継続審査 |
| 11.26 | 危険なブルサーマル発電の中止を求める意見書の提出を求める請願書 | 生 活 産 業 | 12/16 不採択 |
| 11.26 | 日本の農業と地域社会に壊滅的な打撃を与えるTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加に強く反対する意見書の提出を求める請願書 | 生 活 産 業 | 継続審査 |
| 11.26 | 国立福島病院の充実・強化に関わる請願書 | 教 育 福 祉 | 12/16 採択 |
| 11.26 | 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める請願書 | 教 育 福 祉 | 12/16 採択 |
| 11.26 | 子どもの医療費無料化を中学校まで引き上げるよう求める請願書 | 教 育 福 祉 | 継続審査 |
| 11.26 | 中学校卒業まで子どもの医療費無料化年齢引き上げを求める意見書の提出を求める請願書 | 教 育 福 祉 | 継続審査 |
| 11.26 | 子宮頸がん・ヒブ・七価3種の予防ワクチン接種の助成を求める請願書 | 教 育 福 祉 | 12/16 採択 |
| 11.26 | 福祉灯油の実施を求める請願書 | 教 育 福 祉 | 12/16 不採択 |
| 11.26 | 高校生の就学援助制度創設に関する国への意見書の提出を求める請願書 | 教 育 福 祉 | 継続審査 |
| 11.26 | 高校生・専門学校生・大学生に市独自で給付型奨学金及び無利子の奨学金の拡充を求める請願書 | 教 育 福 祉 | 12/16 不採択 |

●陳 情

| 受理年月日 | 陳 情 名 | 処 理 |
|-----------|---|--------------|
| 平成22.2.12 | 須賀川市総合福祉センター5階に展示用パネルボード等の増設依頼について | 平成22年3月定例会配布 |
| 5.24 | 安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情書 | 6月定例会配布 |



3月定例会のお知らせ

会期運営予定表

| 月日 | 会議の内容 |
|---------------------|-----------------------|
| 2月24日(木) (ライブ中継) | 本 会 議 |
| | 会 期 の 決 定 |
| | 会議録署名議員の指名 |
| | 全議案一括上程 |
| 25日(金) | 議案調査 |
| 26日(土) | 休 会 |
| 27日(日) | 休 会 |
| 28日(月) | 議案調査 |
| 1日(火) (ライブ中継) | 本 会 議 |
| | 一 般 質 問 |
| 2日(水) (ライブ中継) | 本 会 議 |
| | 一 般 質 問 |
| 3日(木) (ライブ中継) | 本 会 議 |
| | 一 般 質 問 |
| | 議案に対する総括質疑 |
| | 議員提出議案/意見書案/決議案の提案と質疑 |
| 4日(金) | 委 員 会 |
| | 総務常任委員会 |
| | 建設水道常任委員会 |
| 5日(土) | 休 会 |
| 6日(日) | 休 会 |
| 7日(月) | 委 員 会 |
| | 生活産業常任委員会 |
| | 教育福祉常任委員会 |
| 8日(火) | 委 員 会 |
| 9日(水) | 予 算 委 員 会 |
| 10日(木) | |
| 11日(金) | 事務整理 |
| 12日(土) | 休 会 |
| 13日(日) | 休 会 |
| 14日(月) (ライブ中継) | 本 会 議 |
| | 委員会付託議案(委員長報告)の質疑と採決 |
| | 議員提出議案/意見書案/決議案の提案と採決 |
| | 請願(委員長報告)の質疑と採決 |

ここで正式に会期が決定します。

市長と副市長、または議員から提案理由などの説明があります。

各議員から、市政全般の中で特に聞きたい部分について、当局に対して質問を行います。

初日に一括上程された議案について、質疑を行います。

各常任委員会では、本会議で付託された議案や請願の審査を行います。

各常任委員会での審査報告と採決を行います。

※日程は、都合により変更になる場合もあります。

提出予定案件

3月定例会に提出される主な予定案件は次のとおりです。

- 単行議案
 - ・須賀川市食料・農業・農村基本条例
 - ・須賀川市青少年人材育成事業基金条例
- 予算
 - ・平成23年度須賀川市一般会計予算
 - ・平成23年度須賀川市下水道事業特別会計予算
 - ・平成23年度須賀川市国民健康保険特別会計予算
- 報告
 - ・郡山地方土地開発公社の平成23年度事業計画及び収支予算について

議会傍聴してみませんか。

本会議と委員会は、開催日に市役所4階で、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも自由に傍聴できます。一般質問の日は、市役所4階に臨時傍聴室も設けています。また、インターネットで本会議の様子をライブ中継していますので、ご覧ください。

議会初日には、市長から議案の提案理由説明があります。また、3月1日、2日、3日には、一般質問がありますので、お出かけください。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎88-9162 (直通) 議事係

議会は、午前10時開会の予定です。
 本会議のライブ中継と一般質問の通告内容、過去の会議録などは、市のホームページでご覧いただけます。(http://www.city.sukagawa.fukushima.jp)

市議会教室



議会の傍聴

市議会の本会議・委員会は、どなたでも簡単な手続きで傍聴できます。

本会議の傍聴（4階議場32席、臨時傍聴室30席程度）のほか、本庁1階ロビーと各支所でもモニター中継が放映されています。

また、インターネットによるライブ・録画放映がなされており、いつでもご覧になれます。

委員会の傍聴（委員会室8席）については、議題の告知方法など傍聴しやすい環境づくりを検討しています。

本会議の傍聴者数は下記のとおり増加しています。

| 年 | 平成13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 | 18年 | 19年 | 20年 | 21年 | 22年 |
|----|------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 人数 | 180 ^人 | 268 | 371 | 418 | 431 | 494 | 623 | 434 | 436 | 441 |

傍聴の方法は、本会議の場合では市役所4階受付で住所・氏名を記入するだけです。

委員会の場合は、事務局（88-9162）へ事前に連絡をお願いいたします。

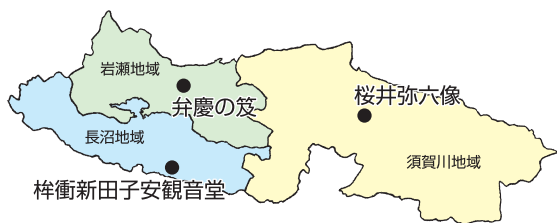
なお、傍聴の際は会議の進行にご協力をお願いします。

3月定例会の日程は7ページのとおりです。ぜひ傍聴にお出かけください。



臨時傍聴室の様子

表紙の「旧跡発見！」の位置図



委員 生田 進
 副委員長 関根 保良
 委員 鈴木 公成
 委員 五十嵐 伸
 委員 相楽 健雄
 委員 加藤 和記
 委員 鈴木 正勝
 委員 菊地 忠男

議会広報委員会

市民の皆様には、春の息吹が感じられる季節を迎えて、ますますご健勝にて、お過ごしのこととお喜び申し上げます。

今号では、各常任委員会の活動内容のお知らせのほか、これからの議会活動のあり方や市民との関わり方などを検討した「議会制度検討委員会」の活動結果などについて掲載しました。

これまで、議会広報委員として、平成19年6月から、市議会だより「8万」の編集・発行に務めて参りましたが、今回の発行で最後の編集となりました。これまで、ご愛読いただきました多くの市民の皆様から深く感謝を申し上げる次第であります。

今後は、これらの学びを活かし、市民の信頼と負託に応えるため、日々精進を重ね、その責任と役割を果たしていく覚悟であります。

編集後記